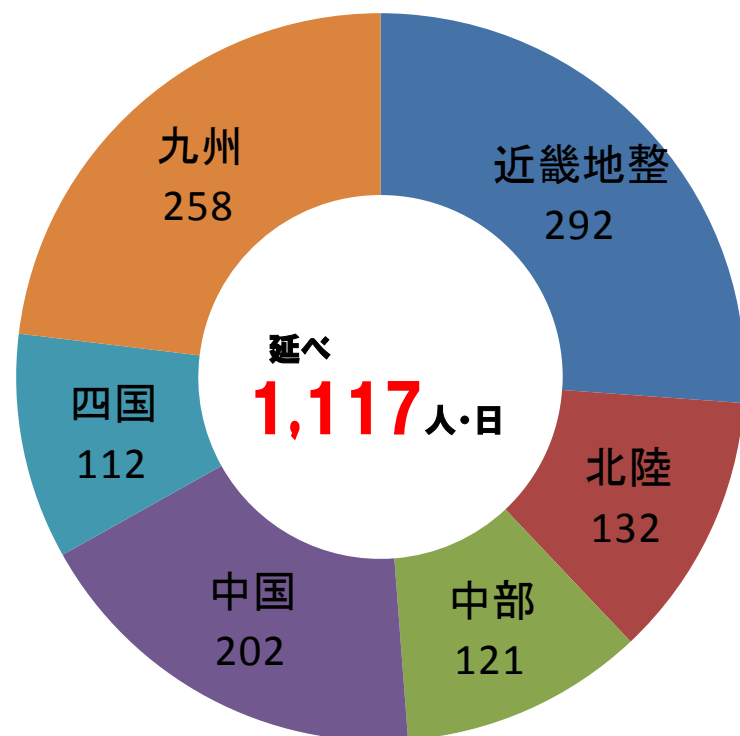


- 9月30日近畿地方整備局TEC-FORCEは、京都府南丹市内の河川被災状況調査を実施。
- 9月30日京都府南丹市長が近畿地方整備局へお礼に来局されました。



【TEC-FORCE活動人員】



10月1日現在

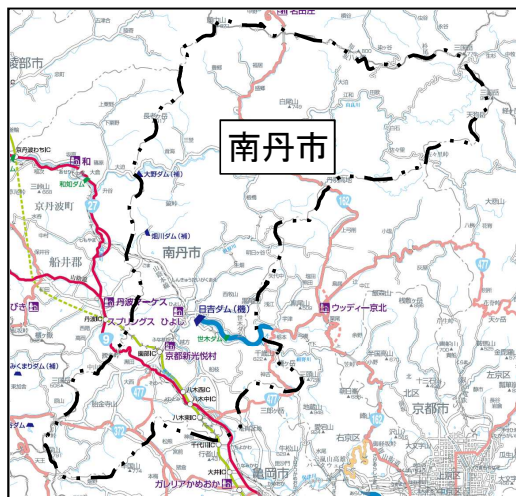
# 近畿地方整備局が派遣したTEC-FORCEの活動状況

活動の概要 9月30日(月)～

◇派遣人数:14人(10月1日)

◇活動場所:京都府南丹市 京都府管理河川:木住川、中世木川

◇実施内容:被災状況調査を実施



調査箇所 (位置図)



南丹土木事務所との打合せ



被災状況調査 (中世木川)

# 近畿地方整備局が派遣したTEC-FORCEの活動状況

■ 9月30日、京都府南丹市長が近畿地方整備局へお礼に来局されました。

[ 佐々木南丹市長より感謝の言葉 ]

- ・近畿地方整備局TEC-FORCE隊の迅速な対応に感謝。
- ・いただいた調査成果を今後活かしたい。

**「南丹の被害額 1億円近い」**  
道路や河川など 国交省派遣隊が報告



佐々木稔納南丹市長(左)に報告書を手渡す。国交省近畿地方整備局の緊急災害対策派遣隊。南丹市園部町・南丹市役所

台風18号による南丹市の被災状況を調査していた国交省近畿地方整備局の緊急災害対策派遣隊が27日、佐々木稔納市長に対し、「調べただけでも被害額は1億円に近い」とする報告書を提出した。

同隊は大規模災害時に被災自治体の要請などで派遣され、被害状況の把握や復旧への助言を行う。今回は市の要請で24日から市道8路線、市管理河川3河川、市園部公園陸上競技場(園部町横田)の計55カ所を調査した。

市道5カ所と河川4カ所については被害額を算定。合計で約9300万円に上った。陸上競技場は管理棟やトラック、芝生などの被害が大きいと、本省が判断するという。報告書では、復旧に向けた工法など技術助言も記した。

佐々木市長は「市内の被害は甚大で、被災箇所も多く困惑しているが、隊の調査に力強い思いがした。一日も早く市民が元の生活に戻れるよう努力したい」と話した。(細谷周平)

9月28日(土) 京都新聞

佐々木南丹市長に報告書を提出

**南丹の道・河川 国が調査**  
台風18号被害 市要請、復旧向け助言

国交省近畿地方整備局の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)が、台風18号豪雨で大きな被害の出た南丹市で、市管理の道路や河川の被災状況を調査を進めている。

同隊は、大規模災害発生時に被災状況を迅速に把握し、早期復旧への工事などについて自治体に技術的な助言をするなど40カ所を調査した。25日は、護岸が崩壊した南丹市吉野川(同町生畑)の護岸の崩壊規模を測って記録するなど、調査を進めた。同隊は27日に被災箇所や被害規模、復旧費の概算などをまとめて市に報告する。(細谷周平)



小畑川の護岸崩壊部を調査する国交省近畿地方整備局の緊急災害対策派遣隊(南丹市日吉町生畑)

9月26日(木) 京都新聞

南丹市の道路・河川の被災状況を近畿地方整備局TEC-FORCEが調査